

日本の斜面防災技術をスリランカへ！

環境保全工法でモンスーンの土砂災害食い止める

国際協力機構（JICA）は 6 月 30 日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、原工業株式会社（東京都北区、原利之代表取締役が提案する「環境保全型斜面防災技術（ジオファイバー工法）の導入に係る案件化調査」（スリランカ）を採択しました。

スリランカは日本と同様に山間地が多く、脆弱な地質と急峻な地形から、モンスーンの影響による地すべり、斜面崩壊が起こりやすくなっています。雨を引き金とする大きな土砂災害も発生し、土砂災害等の自然災害の克服が喫緊の課題となっています。

原工業株式会社が提案する連続繊維複合補強土工法（ジオファイバー工法）は、連続繊維補強土工、地山補強土工、植生工を組合せた環境に優しい斜面保護工法です。本調査では、斜面の風化防止・表層崩壊防止を図りながら全面緑化を実現する同工法を用いて、スリランカの自然災害の緩和を目指します。



清水寺「音羽の滝」に隣接する斜面が豪雨により崩壊

a) 平成 11 年の災害



ジオファイバー工法で斜面を保護し、植生工によって自然景観が回復

b) 施工 12 年後の景観



対策済の隣接斜面が豪雨で崩壊し、ジオファイバー工法で復旧

c) 平成 25 年の災害復旧

世界遺産「京都 清水寺」でのジオファイバー工法の適用例

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL：<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課、橋本（広報担当）

TEL 03-5226-3243 e-mail：pdtps@jica.go.jp